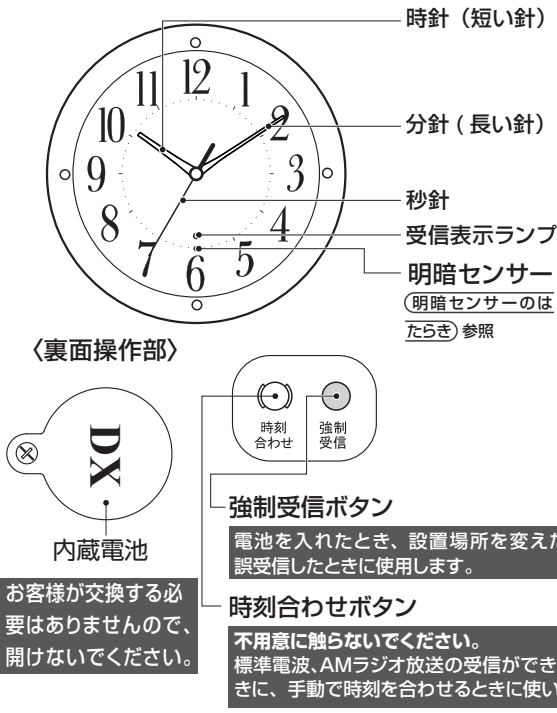
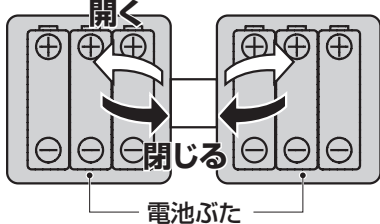


図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



《表示用電池の入れ方》



時計裏面にある2つの電池ふたを取り外して、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、必ず電池を6個入れてください。その後、電池ふたを取り付けてください。
電池の⊕⊖を逆にすると電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。

通常の針の動き
時針・分針：10秒に1回動きます。
秒針：滑らかな1秒ステップ。
※自動受信で時刻を修正するときは、早送りしたり、停止することがあります。

内蔵電池による時刻のバックアップ

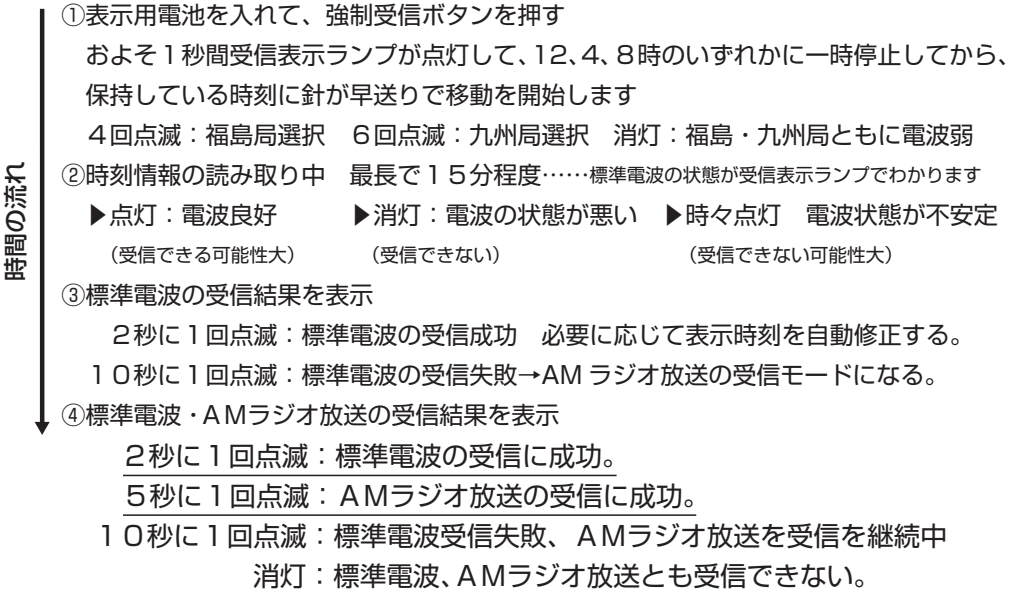
この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時刻を刻みつけています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合は、時刻を修正しています。
表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと8分以内に時刻を表示します。
表示用電池を取り外したり、電池切れのときには、内蔵電池に切り替わり時刻を刻み続けます。
※内蔵電池のみでは、時刻表示、受信表示ランプの点灯/点滅をしません。
※表示用電池により、時刻表示をしているときには、内蔵電池をえません。
※電波受信機能が「OFF」のときは受信を行いません。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針停止、受信表示ランプ消灯

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯して秒針を12時位置で停止させます。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが動きます。
※受信中を除いて、明るいとところで停止するときには、**電池の交換時期お知らせ機能**参照。

標準電波・AMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見方

受信の進行状態や受信結果は受信表示ランプで確認することができます。



- この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報(ブツ、ブツ、ブツ、ボン)のことです。放送局によっては、時報音が異なったり、時報を流さないことがあります。
- AMラジオ放送の受信モードのときにも、標準電波の受信を行います。標準電波の受信に成功すると2秒に1回点滅します。
- 受信しやすいAMラジオ放送局の時報を順に受信を試みます。
- AMラジオ放送の受信は、受信チャンスが1時間に1回のため、受信に時間がかかります。

ご注意

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて**強制受信ボタン**を押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正確ではありません。
- 受信表示ランプは、受信に成功すると最長で24～25時間表示をします。
- 毎正時の前後4分間(56分～4分)は受信表示ランプが消灯していることがあります。(例：9：56～10：04の間) 毎正時の5分以降に確認してください。
- 暗いところでは受信表示ランプは消灯します。

電波を受信できない場合

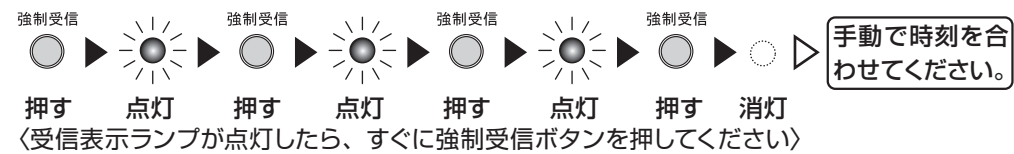
- 標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない……受信表示ランプ消灯**
AMラジオ受信機で、設置したところでAMラジオ放送(推奨NHK第一放送)が明瞭に受信できるかを確かめてください。
明瞭に受信できる場合
強制受信ボタンを押して2～3日後に受信結果を確認してください。
明瞭に受信できない場合
AMラジオ放送を明瞭に受信できるところに時計を設置しなおして、強制受信ボタンを押してください。
AMラジオ放送を明瞭に受信できなくてお使いになるときには、手動で時刻を合わせてお使いください。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。
※表示されている時刻が正しい時刻と±4分以上違っていると、AMラジオ時報放送を受信しても時刻修正を行いません。テレビや電話の時報サービスなどの正しい時刻と±4分以上違っているときには、ペランダなどの屋外で強制受信ボタンを押して受信に成功させるか、手動で時刻を合わせてください。
- 標準電波が受信できない**
受信表示ランプが5秒に1回点滅していれば、AMラジオ放送の受信に成功していますので、標準電波を受信できなくても正しい時刻を表示しています。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには(受信機能を無効にするには)

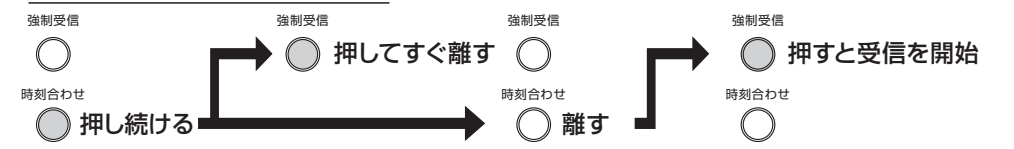
図のように強制受信ボタンを4回押しします。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

電波受信機能をONにするには(有効にして受信を開始するには)

電波受信機能は、工場出荷するときにON(有効)にしています。OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後に必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させていただきます。



ご注意

- ※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
- ※表示用電池を取り出しても設定を保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

ご使用の手順 はじめてお使いになるときは、ここからお読みください。

AMラジオ(推奨NHKの第一放送)がよく受信できる場所に掛けてご使用ください。

この時計は、時刻を合わせて出荷しております。
電池を入れて強制受信ボタンを押してから、そのまま掛けてお使いください。
強制受信ボタンを押してから8分以内に時刻を表示します。

- 《表示用電池の入れ方》および《時計の掛け方》参照
- ※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。
- ※時刻を表示する前に、12時、4時、8時のいずれかに一時停止します。

- 正しい時刻に合わせるために、
- ① 福島局または九州局から送信されている標準電波の受信を試みます。
 - ② ①が失敗したときには、AMラジオ放送(時報)の受信を試みます。
- 受信結果は、受信表示ランプで確認することができます。
強制受信ボタンを押して、16分以上経過してから確認してください。
- | | |
|----------|--------------------------|
| 2秒に1回点滅 | 標準電波の受信に成功。……正しい時刻を表示 |
| 5秒に1回点滅 | AMラジオ放送の受信に成功。……正しい時刻を表示 |
| 10秒に1回点滅 | 標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中 |
| 消灯 | 標準電波、AMラジオ放送とも受信できない。 |

標準電波・AMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見方 参照

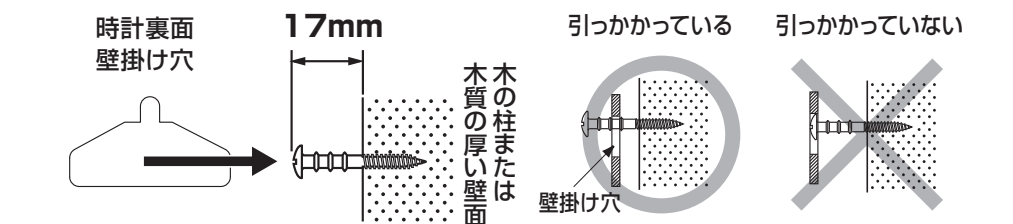
時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじや取付金具)が壁掛け穴にしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

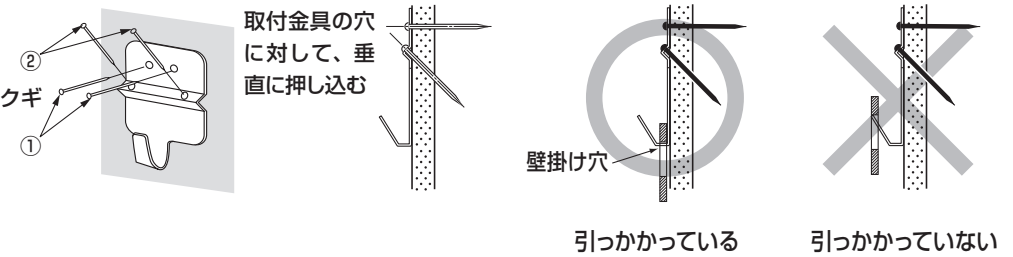


石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。

取り付け方

金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。



- 壁の材質、取り付け方法を確認の上でご使用ください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の交換時期お知らせ機能

重要

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が12時位置で停止します。時計および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[※]時刻を表示し続けませんが、お早めに電池を交換してください。

[※] ご使用状態により、この期間は前後します。

使用する電池の条件

電池を長期間使用しますのでつぎのことをお守りください。
条件を満たさない電池を使用すると、電池からの液もれにより時計や壁面などに損傷を与えることがあります。また、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。

- ① 電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上
例：2012年3月に交換03-2016より先の「使用推奨期限」表示のある電池
- ② 同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの
- ③ 未使用の電池
- ④ 単3形アルカリ乾電池

使用推奨期限の表示例 月一年



手動での時刻合わせ……電波が受信できない、任意の時刻に合わせたい

受信できないところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、手動で時刻を合わせることができます。時間精度は、クォーツ精度になります。

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を修正します。
☞ **電波受信機能のON/OFF操作** 参照。

- 時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。
 - 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押すつづけると早送ります。

秒針の動きについて
時刻合わせボタンが押されると秒針は停止します。時刻合わせボタンを離したときにゼ口秒に設定され、時間が経過して、秒針が指している時刻になると秒針が動き出します。

なぜ?...疑問に答えます

- 暗いところで、針が早送りで動いた。
これは、針の位置を修正するために意図的に動かしているものですので、故障ではありません。
- 針が12時、4時、8時のいずれかに止まった。
針の位置を確かめるために12時、4時、8時のいずれかに一時停止します。その後時刻を表示します。
- 強制受信を押しても受信表示ランプが点灯しない。
電波受信機能がOFFです。 **電波受信機能のON/OFF操作** 参照。